Governor's Monthly Letter

RI第2670地区運営方針 パッション&パシュート：情熱と追求

RI 第 2670 地区 2019-2020 年度 ガバナー 大島 浩輔

2019-2020 年度
国際ロータリーテーマ

ロータリーは
世界をつなぐ

Rotary International District 2670
2019-2020 Governor Office
Tokushima-City, Tokushima Pref.

鳴門の渦潮
徳島県鳴門市と兵庫県南あわじ市の間にある鳴門海峡で発生する渦潮。大潮の際には渦の直径は最大で30mに達するといわれ、その大きさは世界でも最大規模といわれています。

2020
6
Vol.11/12

Rotary

Contents

02 ガバナー・メッセージ
03 『ロータリーフェイスシールド寄贈プロジェクト』報告
03 地区事務所開設のお知らせ
04 ガバナー補佐退任のご挨拶
香川第Ⅰ分区 角田 朝則
香川第Ⅱ分区 夏見 良宏
高知第Ⅰ分区 寺尾 晴邦
高知第Ⅱ分区 野村 茂
愛媛第Ⅰ分区 瀧山 一甫
愛媛第Ⅱ分区 髙橋 宏文
徳島第Ⅰ分区 岩根 光隆
徳島第Ⅱ分区 芝野 光
08 地区委員長退任のご挨拶
13 人生100年時代 日本ロータリー100周年に向けて
14 3月度・4月度出席報告
16 受賞者紹介

Governer's Message

第 2670 地区ロータリアンの皆様へ

国際ロータリー第 2670 地区
2019-2020 年度
ガバナー　**大島 浩輔**

皆様、ご無沙汰をいたしております。今回の 5 月、6 月併合号で 2019-2020 年度の最後のガバナー月信となります。

何をおいても、今回の邪悪なウイルスの蔓延により、直接、または間接的に被害を被ることになられた皆様方に心からのお見舞いを申しあげます。

通常の職業の営みが、何の瑕疵も無いにも拘わらず惨忍に妨げられてきましたこと、慙愧に耐えません。

全国 34 名のガバナー間のメールのやりとりの中で、絶望感に襲われ、モチベーションが低下していく虚脱感との闘い、云々がやりとりされています。先頭に立って旗を振るべき役目である同期ガバナーが指針を失い四苦八苦し、思案に暮れております。私も同様で、昼夜どうすれば良いかを考え、そして自身の無力さに忸怩たる思いを重ねて参りました。

2002 - 03 年に被害をもたらした「SARS」は私たちの地区の短期交換プログラムを中止に追いやりました。しかしながら、今回の新型コロナウイルスの凄惨さは比することができないほど甚大な惨禍・犠牲を産み出しています。そして今回も短期交換事業は中止せざるをえませんでした。

1910 年以来、第一次・第二次世界大戦の戦火の中でさへも開催され続けた世界大会も、今回の米国・ハワイ州・ホノルル大会がロータリー史上初めて中止決定がなされました。思い起こしますと、ロータリーはその歴史の中で、常に天変地異、または疫病の流行に活動を妨げられてきました。その都度、被災の爪痕を深く刻まれながらも復興を遂げ、私たちの目指す「奉仕」に邁進することができました。しかしながら、今回の奇禍は想定外であり想像を絶する覚悟と復興に向けた工夫と努力が必要だと思われます。

第二次世界大戦の戦時下、日本では、ロータリーという名称を使えず、週の曜日を冠して例会を開いていました。東京水曜会、大阪金曜会、神戸木曜会、の如くでした。戦時下でさえ、集合が可能な限りは例会を開くことが叶いました。しかし今回は違います、いわゆる「三密（密閉・密集・密接）」を避けるためには、広い空間、そして、工夫が必要となりました。万が一感染を引き起こした際には同席相手の方々に対しての責任の取りようがありません。

考えられる事は遠隔会議・テレコミュニケーション、いわゆる現代のツールの活用です。

このウイルスの蔓延により、私自身アナログ信奉から、最も苦手とするデジタル依存に大きく舵をきる必要を強く感じています。皆様のクラブには新しい時代に適応が可能なロータリアンが、そしてローターアクターがいらっしゃると拝察します。RI 会長エレクト、ホルガー・クナーク氏も頭の切り替えについて頻繁に言及されています。

戦時下においても当時のロータリーは奉仕活動の火を消すことはありませんでした。戦争が終結をみると、多くのロータリアンが奔走し、国連の誕生、国連憲章の制定に係ったとされています。ロータリーの父、ポールハリス没後 50 年に創設された「ロータリー平和センター」は既に 1,300 名のフェローを輩出し世界各国において紛争解決、平和構築のために、この奇禍の最中にも奔走しています。

ポリオ根絶運動も現在の危機的状況のなかでも続いています。加えて、ポリオ根絶で蓄積したノウハウを元にこのウイルスに対しての警鐘を鳴らし、また注意を喚起することを当該国で多くのロータリアンが活動中です。

ただ、今現在、日本で、そして四国で何を為すべきか、ご自身の身の安全を確保すること、そして他人を気遣うことが一番です。皆様には身の回りのことからお始めいただければ幸いです。月信 4 月号でも触れさせていただきましたが、手近なロータリー中核的価値観を思いおこしください。「奉仕」「親睦」「多様性」「高潔性」そして「リーダーシップ」です。私自身、少しでも回りの方々にお役に立てますよう、出来ますなら明るく、つながりを大事にし、志を高くもちたく思っています。そして例会再開後は、皆様の間で互いに励まし、助け合えるような土壌作りにお努めいただけますよう伏してお願い申しあげます。

長くなりましたが、本来は皆様お一人おひとりに拝眉の上でお願いすべきことですが、紙面にてご挨拶をすることご容赦をいただきたく存じます。

2020-2021 年度、篠原ガバナー様には大変な苦痛を伴う出帆となりそうで、心情をお察し申しあげます。何卒この困難を乗り越え、私たちをお導きいただけますようお願い申しあげます。

一刻も早く邪悪なウイルスが去りますように。そして皆様に普通の生活が戻って参りますよう、心より祈念申しあげます。

1 年に亘りこのコラムにお付き合いをいただき、心より感謝を申しあげ、最終号を閉じせていただきます。

『ロータリーフェイスシールド寄贈プロジェクト』報告

日本のロータリーのプロジェクトとして COVID-19 と闘う医療従事者を共に支援しようと、全国 34 地区で 50 万セットの『ロータリーフェイスシールド』を寄贈しています。（5 月末現在で 75 万セット寄贈）

国際ロータリー第 2670 地区（四国四県）におきましても、各県 7,200 セットを（地区内 28,800 セット）一日でも早く医療従事者の方々のお手元に届くよう準備を進め、5 月 1 日の徳島県医師会を皮切りに、5 月 14 日に高知県医師会、愛媛県医師会、香川県知事へ寄贈しました。

この『ロータリーフェイスシールド』は、国内の既存メーカーが既にフル稼働で供給余力に限界があるため、この度、東海地区の素材メーカー等の協力を得て、国際ロータリーとして独自に大量に生産し、全国各地に配送する体制を整えました。

また、各歯科医師会にも、各県 1,080 セット（地区内 4,320 セット）を、6 月 4 日に高知県歯科医師会、香川県歯科医師会、徳島県歯科医師会、6 月 5 日に愛媛県歯科医師会に寄贈しました。各県のパストガバナー様、ガバナー補佐様にご尽力いただきプレゼンターを務めていただきました。

各県各地域で COVID-19 と闘う医療従事者の方々に、少しでも安心して医療従事に役立て、ご活用いただき、一日も早く収束を迎えることが願いです。

地区事務所開設のお知らせ

新型コロナウイルス「COVID-19」感染拡大に伴い、今年度予定していました国際奉仕（長期･短期交換）事業、青少年奉仕（インターアクト・ローターアクト・RYLA・新世代）事業はやむなく「中止」の決断をしたところです。

本ウイルス感染が終息に向かいましたら、早々に地区各委員会の事業を再軌道に乗せるため、今年度中に標記の地区事務所（委員会事務所）の開設を行い、事業活動に伴う効率改善を円滑に対処し業務遂行致したいと考えております。今後とも、尚一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

■［徳島］地区事務所：今年度ガバナー事務所を改設
◇青少年奉仕委員会（インターアクト・ローターアクト・RYLA・新世代）
◇米山記念奨学委員会
〒770-0021　徳島県徳島市佐古一番町 11-4
TEl.088-655-2670　FAX.088-655-2672
E-mail：office@rid2670gov.net
執務時間：9:00 ～ 16:00（土日祝祭日休み）

■［香川］地区事務所：現財団事務所を改設
◇財団委員会
◇国際奉仕委員会（長期交換・短期交換・国際ファンド）
〒761-8014　香川県高松市香西南町 404-1
ネッツトヨタ高松㈱内
TEl.087-873-2225　FAX.087-873-2211
E-mail：info@rid2670trf.org
執務時間：9:30 ～ 16:30（土日祝祭日休み）

ガバナー補佐退任のご挨拶：香川

香川第Ⅰ分区 角田 朝則
（高松グリーン RC）

まずは、私をガバナー補佐として寛容の精神で温かく迎えていただき、ご指導いただきました香川第I分区 10 クラブの会長、幹事はじめ会員の皆様の友情にお礼申し上げます。

クラブ訪問の際にも私の力不足で卓話や所感が適切で的を射たものでなかった事を反省しています。

しかし、10 クラブ全てのクラブが真摯に運営・事業・奉仕活動に取り組まれている事に触れ、感動し勉強させられました。各クラブ共成り立ち、伝統・地域性・会員数・活動内容に特徴や個性があり、それこそが活力の源と思われます。

会員一人ひとりのモチベーションとクラブの独自性でクラブが成り立っていますが、時代の変革に柔軟に対応していくことも持続可能な組織として必要なことと思います。

RI や地区の状況も咀しゃくしクラブに反映させることも必要でしょう。

ガバナー補佐研修、PETS、DTTS、ロータリー財団、米山奨学生選考、東京オークラホテルでの基盤向上委員会、戦略計画推進セミナー等に参加させていただきロータリーが自己研鑽し永きに亘り奉仕活動を実践してきたことを学ばせていただきました。

この経験を今後のロータリーライフに役立てて、少しでもロータリーや地域社会に奉仕出来たらと考えています。

さて、2 月 29 日に開催した IM（奉仕の真髄・誰かを救う喜び）は新型コロナウイルスの影響で関係者のみのシンポジウムになりました。準備万端 1,000 名以上の来場者を予定していただけに、残念でした。ネット配信していますのでご覧いただけたらと思います。

その後のロータリー事業は中止となり、従来通りの活動が出来なくなっていますが、月信が皆様の手に届く頃には終息していることを祈念するものです。今は自分の為、人の為に我慢する時です。

最後になりましたが、大島ガバナーを始め 7 名のガバナー補佐様また高松グリーンクラブの皆様に感謝を申し上げてご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

香川第Ⅱ分区 夏見 良宏
（丸亀 RC）

テレビは今日も、アナウンサーが深刻な声で「新型コロナウイルス」による感染者数と死者数を伝えています。パンデミック（世界的大流行）、オーバーシュート（感染爆発）、ロックダウン（都市封鎖）、医療崩壊、緊急事態宣言と、今まで聞いたこともなかったような言葉もいつの間にか日常の言葉となり、不安はウイルスより早くヒトの心を蝕んでいるように感じます。

一瞬にして社会が変わる。ロータリーが変わる。そんな歴史的事件が今、起きています。昨年 7 月からガバナー補佐として、皆様のあたたかいおもてなしの中、分区内 8 クラブを訪問し、10 月には第 13 回香川県ロータリークラブ親睦ゴルフ大会、11 月には地区大会と、盛大にそして滞りなく事業が行われ、無事半年が過ぎ、さあ、あと半年と思った瞬間、それは突然嵐のようにやってきました。

2 月の IM は無観客開催となり、その後の事業は RYLA も地区協議会も周年記念式典も何もかも全て中止になり、例会も休会に次ぐ休会となりました。様々な場面で、その日の為に準備された皆様の心中を察すると本当に胸が痛みます。

今回の「コロナウイルス禍」は、過去、人類が恐れ慄いたペスト・コレラ・スペイン風邪に匹敵する歴史的大事件です。人々は「死」を目の当たりにし、文化的活動など行う気力も余裕もなく、只々、「生きる」ことのみを求めるようになります。今後、さらなる未曽有の消費不全が起こり、経済は相当期間不全状態となるでしょう。これを阻止しようと、アメリカや日本は巨額の金融注入を行っていますが、底割れした経済にどれほどの効果をもたらすのでしょうか。逆に、スタグフレーション（不況下のインフレ）を引き起こし、第一次世界大戦直後のドイツのような状態に陥らないかと心配にさえなります。いつの世も「生きる」が眼前にある人間は、あさましくなり、まず自分、そして家族、一族、地域、民族、国の順に「生きる」プライオリティーを全うしていきます。正にポピュリズムです。第一次世界大戦直後のドイツにヒトラーが生まれ、第二次世界大戦に突入したのも同じ流れです。さらに、広範なポピュリズムの深化は、排他的な動きとなり「共通の敵」を持つことで纏まろうとします。韓国 VS 日本、アメリカ VS 中国などの非難合戦はまさにその兆候といえます。危険水準です。しかし、人類は過去の過ちを決してそのまま反復はしません。必ず「良識」が台頭します。久遠の平和を望むロータリーの「生きる」のプライオリティーは世のため、人のためです。良識の台頭、即ちロータリーの台頭を期待します。今は健康に注意し、右往左往することなく、ロータリアンとして「泰然自若」が大切ではないでしょうか。

最後になりましたが、貴重な経験の場を与えていただきました丸亀ロータリークラブの皆様、ご協力いただきました香川第Ⅱ分区の皆様に心より感謝申し上げます。至らないことばかりでしたが、お許しください。また、皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

大島ガバナー本当にお疲れ様でした。心より深謝申し上げます。

ガバナー補佐退任のご挨拶：高知

高知第Ⅰ分区 寺尾 晴邦
（高知ロイヤル RC）

高知第I分区ガバナー補佐を退任するにあたり一言お礼の言葉を述べさせていただきます。

一昨年に地区よりクラブへガバナー補佐推薦の依頼を受けクラブ内での協議を経て推薦をいただきました。

その時点ではガバナー補佐の役目を充分に理解していなか ったこともあり簡単にお引き受けしたわけですが、ガバナ ー補佐研修など、補佐としての研修を受け補佐の役割を感じ るようになりました。また地区ではガバナー補佐の呼び方 を AG（エージー・Assistant Governor）と呼んでいました。私はこの呼び方がとても気に入っていました。

ガバナー補佐としての任期中はその役割、役割の重さを念頭に置きながら務めてまいりました。分区内でのガバナー 補佐訪問の際には各クラブの皆様には温かく迎えていただきました。各クラブに訪問させていただいて感じたことは、それぞれ伝統を踏まえ特色あるクラブ運営を行っておられ、常に地域のために活動し、地域に根差したクラブ運営を目 指して活動しておられることです。

分区内での AG の役割としては、ガバナーの方針や地区の様々なことをお伝えするだけでなく、会長様によるクラブ運営のベクトル、すなわち方向性と出力といったものを現す機会となるというものです。地区という存在と同様に AG という存在は決して指導するとか判断する立場ではなくクラブ運営をお助けするもの、役割なんだという事に気付かされました。

AG として地区内に出掛けることによって多くの方々との交流を通して組織を体感し、それぞれの事業、分野に携わる方々の姿に触れる機会を得た今後の人生、ロータリー活動に生かされるものと感謝しております。

また、推薦いただきました高知ロイヤルロータリークラブの皆様には得がたい機会をいただきましたこと改めて感謝申し上げます。

加えてロータリー活動は家族の理解と協力なくしては出来ません。良い家族と仲間をこれからも大切にして行きたいと思います。

今年度は 12 月末頃よりコロナウイルス感染拡大という誰も が予測していなかった事態になり、社会全体が全ての活動自粛という事になりました。この原稿を書いている 5 月の時点では例会も再開できない状態です。この状態が長続き しませんよう切に願っております。

高知第Ⅱ分区 野村 茂
（高知 RC）

ガバナー補佐退任にあたり一言御礼の言葉を述べさせていただきます。

今回ガバナー補佐就任に際しては、高知 RC で以前ガバナー補佐を務められた森本征彦会員からその職務について懇切に教えていただきましたが、当初は何とかなるだろうという気軽な気持ちでおりました。しかしながらガバナー補佐としての仕事が単に分区内の会員相互の交流にとどまらず、米山奨学生や短期交換留学生の選考などに立ち合わせていただくなど、地区全体に密接につながる職務が数多くあることを認識し、幾度となく身の引き締まる思いをいたしました。今回、ガバナー補佐を仰せつかったことで、ロータリーについてもう一度勉強しなおす機会をいただいたと思っています。

さて、ガバナー補佐の仕事の中で特に印象に残っていることを 2 つお話させていただきます。

まず 1 つ目はガバナー公式訪問に先立って行われた補佐訪問です。高知第Ⅱ分区は高知市（3 クラブ）と県西部（5 クラブ）の 8 クラブから成り立っています。この補佐訪問では、RI 会長の年次テーマや大島ガバナーの地区運営方針をお伝えすることが主な任務ですが、余った時間を利用してロータリーの「職業奉仕」について卓話をさせていただきました。ネットで調べたことを繋ぎながらの話となり、私の理解不足から十分にお伝え出来なかったことを申し訳なく思いますが、私が以前から思っていたことをお聞きくださり、また温かく迎えてくださったことに感謝申し上げます。

2 つ目は高知 RC をホストクラブとして開催された高知第I・第Ⅱ分区合同 IM です。大島ガバナーをはじめ 8 名のご来賓と高知第I・第Ⅱ分区 15 クラブから 250 名近い会員の出席を得て盛大な IM となりました。今回の IM では、ロータリークラブの原点に立ち返り、「奉仕活動」にスポットを当てて会員の皆様の研修と発表が行われました。基調講演では稲山パストガバナー（徳島プリンス RC）に「職業奉仕～空念仏としないために～」をテーマにご講話をいただきました。RI（国際ロータリー）の現状を鑑みて、職業奉仕は今どうあるべきかを考えるきっかけにしていただければと思い、補佐訪問卓話と同じ「職業奉仕」を基調講演のテーマに選ばせていただきました。

最後になりますが、一年間ご厚誼賜りました大島ガバナーをはじめガバナー事務所の皆様、高知第I分区寺尾ガバナー補佐、そして関パストガバナー、安光会長、中澤幹事をはじめ高知 RC の会員の皆様に心から感謝申し上げます。

ガバナー補佐退任のご挨拶：愛媛

愛媛第Ⅰ分区 瀧山 一甫
（新居浜南 RC）

昨年の7月、ガバナー補佐を委嘱されてからの1年は長い様でもあり短い様でもありました。

最初にズシンとした思いをしたのは米山奨学生の選考に参加した時です。支援する金額が彼、彼女達にとって少なからず大きなものであるのを知り、選ぶ資料、時間も少ないのに私の意見でよいのかと強く思いました。

次は短期交換学生の派遣を選ぶ時でした。これも参加の学生さん達の前向きな姿勢を目の当たりにして落ちる人を作ってもよいのか?と心を痛めました。

IMは私たちが直面している「人生100年時代～老老介護・認知症になっても楽しく看る～」をテーマに、各クラブの方々のほぼ全員が多かれ少なかれ関わっているのだなあと切実に感じたタイムリーな企画だったと思っております。

ガバナー補佐を務めさせていただき、大島ガバナーの人格と見識に引っ張られ9クラブの会長、幹事の皆さんと親しくなれ多くのロータリアンと交友を重ねられたのは最大の収穫でした。

現実に2670地区を動かしているのは各委員会です。地区代表委員長の皆様の熱意と努力がこの地区の盛り上がりを左右します。いずれもベテランの方々がその委員会の活動に情熱をもって当たっておられるのが成果となっているのをよく理解出来ました。

私はガバナー補佐として至らぬ点が多々あったと思いますがお許しいただき、次期ガバナー補佐の井原伸さんが立派におやりになるだろうと安心してバトンタッチを致します。

全ロータリアンの皆様、本当に1年間ありがとうございました。

愛媛第Ⅱ分区 髙橋 宏文
（伊予 RC）

今期、愛媛第Ⅱ分区のガバナー補佐を務めさせていただきました。昨年7月からの年度スタートに先立って、米山奨学生や短期交換留学生の選考など実質的な活動もあり、少なからぬ不手際でご迷惑もおかけいたしましたが、多くの方々のバックアップに支えられて、今は何とかやり切れたのではないかなと安堵しております。

実業界には全くと言っていいほど明るくない私でしたが、訪問した例会でお隣に座られたロータリアンと気軽にお話しできる雰囲気の中でロータリーの良さを再認識いたしました。また昨年5月のRYLAに、一泊とはいえ初めて参加させていただいたのも大きな思い出の一つです。以前から興味があったもののなかなか都合が合わなかったのですが、ガバナー補佐の御役目をいただいたことでお誘いがあったのもご縁なのでしょう。興味深い内容の講義もですが、地区役員の方々との繋がりができ、そして何より、それまで雲の上の存在だった大島ガバナーやパストガバナーの方々と近しくお話しさせていただけたことが最高の役得（?）だったと思います。これからも機会があれば是非参加したいと思っております。1月25日には伊予クラブの主催で会員増強をテーマにIMを開催させていただきました。各クラブから実情を報告していただいたのですが、それぞれに事情があり、増強の方法も速度も様々ながら、概して明るい方向に進んでいるのではないかという手応えがありました。しかし、それから間をおかずしてコロナ禍が全世界を覆い、多くの経済活動が縮小あるいは停止してしまいました。クラブとして例会さへも開催できない状況の中で改めてロータリーとは何か、奉仕とは何か考えさせられる機会であったとも思います。そんな中、大島ガバナーの御尽力で県医師会、歯科医師会にロータリー・フェイスシールドを寄贈することができたことを喜ばしく思います。ただ、今後世界的な不況が予想されるなかで、せっかく上向きになってきたロータリーの活動が再び停滞に向かうことがないよう願うばかりです。

年度末のお礼のクラブ訪問さえ予定できない状況の中でこの原稿を認めておりますが、多くのことを勉強させていただいた稔りある1年でした。大島ガバナーをはじめガバナー事務所、地区役員の方々、そして伊予クラブと愛媛第Ⅱ分区のロータリアンの皆様に心から御礼を申し上げます。ありがとうございました。

ガバナー補佐退任のご挨拶：徳島

徳島第Ⅰ分区 岩根 光隆
（徳島東 RC）

この度徳島第I分区ガバナー補佐を退任するにあたり、一言御礼のご挨拶を申し上げます。

前年度9月、所属クラブから推薦をいただいたのですが、長期に亘りスリーピングしていた私がお受けして良いのかとても悩みました。ガバナー補佐の役目を充分に理解していなかったからです。その後、ガバナー補佐研修、PETS、DTTSなどの研修を受け少しずつ理解することができました。今年度国際ロータリー、マローニー会長は「ロータリーは世界をつなぐ」。第2670地区大島ガバナーは、「パッション&パシュート：情熱と追求」をテーマとされました。例年、分区内10クラブには事前訪問、補佐訪問、ガバナー訪問、事後訪問と年4回訪問させていただくのですが、今年はコロナの影響で事後訪問がどうなるのかわからない状況ですが、訪問させていただいた節には、会長、幹事様、メンバー様に温かく迎えられ、多くのご縁をいただき厚く感謝申し上げます。

またどのクラブにおきましてもそれぞれの特色、伝統をいかし地域社会に必要とされるクラブ運営をされていることをお聞きし大変勉強になりました。補佐訪問時は、先ほどのテーマについて卓話させていただきましたが私自身僧侶であるため仏教用語を多用し、私流に話したことは、少し反省しつつも感謝しています。

ガバナー補佐の仕事、役割としてはわからないまま参加したロータリー財団地区補助金の会合、応募定員がオーバーしていた短期交換留学生の選考。「さるクラブ、会長様には大変ご迷惑をおかけしました申し訳ございません。」

11月の地区大会ではホストクラブのメンバー様、また全員登録していただいた各クラブの皆様に改めて厚く感謝申し上げます。徳島第I・第II区合同のIMの開催はコロナの影響で中止になり、分区の大切な事業でありロータリーにおける意義等を考えるととても残念です。私にとって長いようで短い1年間でしたが、改めてロータリーの素晴らしいさを学び経験することができました。

このような機会を与え支えていただいた大島ガバナー、地区役員、各分区ガバナー補佐、徳島分区メンバー、所属クラブの皆様に感謝申し上げます。

ありがとうございました。合掌

徳島第Ⅱ分区 芝野 光
（鳴門 RC）

親愛なるロータリアンの皆様

この度のガバナー補佐退任にあたり、一言御礼申し上げます。

2018年10月に委嘱状を拝命し、凡そ20ヶ月もの間、皆様と貴重な経験をさせていただきました事につきまして心より感謝申し上げます。

2019年1月からは、米山奨学生・ロータリー財団奨学生・短期交換学生等々の選考にも関わることが出来、補佐としての役割についても再認識させられた次第です。

5月からの担当クラブへの事前訪問の際には、前任の藤田様とご一緒させていただき、補佐訪問・ガバナー訪問へと繋げることができました。

そして、大島ガバナーの思いと私が担当するクラブ様其々の歴史や特徴を私なりに理解し伝える仕事が微力ながらお手伝いできたのではとも考えています。

さらには、徳島市内9クラブで開催される会長・幹事会への参加は、鳴門RCに所属する私の立場においてはとても興味深い経験にもなりました。

こうした中で考えますと、この度の経験が無ければ知り得ることがなかった各クラブ様の運営ノウハウや貴重な情報、そして何より多くのロータリアンと深い友情が育まれたことに尽きるかもしれません。

2020年2月からの世界を揺るがせた新型コロナによる影響は我々にとっても計り知れない事態となっており、地区行事は勿論、例会活動もままならない状況が続いています。

只、各地のロータリアンが困窮する事態に対し、シールドマスク等を医療従者等に供給する動きが本格化し、第2670地区においても実践されたことは喜ばしく感じております。

また、私が徳島西RC様と主催することとなっていたIMも中止を余儀なくされ、大変残念な気持ちでしたが次年度に同クラブ様が改めて開催していただく事となり少し安堵した次第です。

これからは、様々な意味で世界のスタンダードなことや、標準・基準が見直されるのかもしれません。

しかし、2019-2020年のRIテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」にあるように、全世界のロータリアンの使命や友情は変わることは無いと確信しております。

最後に第2670地区運営を担ってくださった地区役員・運営スタッフの皆様と、私を支えていただいた鳴門RCの皆様には心から感謝申し上げると共に第2670地区と徳島分区の益々の発展をご祈念申し上げ、御礼とさせていただきます。

地区委員長退任のご挨拶

クラブ奉仕委員会
委員長 東條 総一郎
（徳島プリンス RC）

本年度クラブ奉仕委員長として1年間お世話になりました。

クラブ奉仕委員会とは、クラブの運営と管理を行う委員会です。すなわち、クラブ会長が会員間の「つながり」を強固なものとすることでクラブがまとまり、それにより効率的な運営ができ、クラブを発展させていくことを目的とする重要な委員会です。

地区協議会に出席し、「クラブ奉仕委員長」が各クラブの会長ノミニーとなっていないクラブが16クラブ当地区に存在していることに驚いた次第です。

と言いますのも私の所属クラブである徳島プリンスRCは設立当初よりクラブ奉仕委員長=会長ノミニーであることが当たり前でした。会員数も70名前後で推移しておりCLPも実施しておりません。そんなこともありクラブ奉仕委員長（会長ノミニー）と思い込んでおりました。

「クラブ奉仕」はロータリーにおいてはロータリーの第一奉仕部門であり、ロータリアンがクラブを円滑に機能させるためクラブ内では親睦･プログラム･出席･ニコニコ･会員増強・会員選考分類の各委員会を統括する委員会だと思います。ですから地区協議会においてはクラブ奉仕委員長が会長に就任した年度のガバナーとの重要な懇談の場であるべきで、そのような認識を基に活動させていただく所存であります。

今年度につきましては、私の力及ばず成果を上げられなかったことは、誠に申し訳なく反省しております。

今年に入り新型コロナウイルスの関係で会員の方々の仕事や生活に影響が出ている方も多数おられるかと思いますが、早く収束してロータリー活動ができる事を願って退任の挨拶とさせていただきます。

1年間ご協力いただきましたことに感謝申し上げます。

職業奉仕委員会
委員長 疋田 孝文
（徳島プリンス RC）

職業奉仕委員会委員長をさせていただき、終えさせていただきますことを委員会の皆様、お世話になった方々に感謝申し上げます。

今年度の大島ガバナーも職業奉仕はロータリーの金看板と位置付け、とても大切にしている委員会です。

「職業」とはお金を儲けるための手段です。すなわち私たちが生きていくための所得を得る手段であり、これは「自分のためのもの」です。一方、「奉仕」とは世のため人のためのものであって、すなわち自分以外の「人のためのもの」です。このようにまったく正反対の2つの言葉が1つになって職業奉仕といっていることが、職業奉仕の解釈を難しくしています。

私もロータリークラブに何年間か在籍させていただきましたが、確固たる答えを見つけることはできませんでした。メンバーの皆様におかれましても、良くわからない方が大勢いらっしゃると思いますが、職業とは単なるお金儲けではなく、経営者である、皆様の、従業員様の気持ちに奉仕の精神が宿っているか否かが大切になってくると思います。

昨今の新型コロナウイルスの影響で大変な今この時こそ、ロータリアンとして何ができるかを考える時ではないでしょうか、次年度の方々におかれましても、私のことは参考にせず、自分たちで職業奉仕を見つける努力をしていただきたいと存じます。

ありがとうございました。

地区委員長退任のご挨拶

国際奉仕委員会
委員長 美馬 秀夫
（徳島 RC）

第 2670 地区 2019-2020 年度国際奉仕委員長を拝命してから 1 年が過ぎようとしています。

日頃は国際奉仕プログラムにご理解とご支援、ご協力賜り厚く御礼申し上げます。

国際奉仕委員会は、青少年長期交換・短期交換・国際奉仕ファンド小委員会の 3 つの小委員会で構成されており、今年度もそれぞれの小委員会が特色ある有意義な活動を行って参りました。

今年度も長期交換小委員会では 1 年に亘り、主にアメリカ合衆国・オーストラリア連邦との相互の交換留学生の受入を行いましたが、新型コロナウイルス感染拡大により留学生が帰国せざるを得ない状況になりましたことは、私自身無念でなりません。

短期交換プログラムは 1978 年にスタートし、約 40 年継続されているプログラムで、「参加した学生の人生を変える」程の素晴らしいプログラムです。

今年度第 42 回を迎え、ニュージャージー州への派遣は 2019 年 7 月 25 日㈭～ 8 月 15 日㈭の 22 日間、玉置潔・玉置房リーダー、藪田ひとみサブリーダー以下 30 名がニューヨーク・フィラデルフィア等に滞在しました。

アメリカ・ニュージャージー州から、2019 年 6 月 28 日㈮～ 7 月 18 日㈭の 21 日間に亘り、Harry Mazujian、Ruth Mazujian ご夫妻をリーダーに、15 歳から 18 歳までの生徒 27 名を受け入れました。

京都・姫路・倉敷・広島・宮島を巡り、日本の文化や伝統を理解していただき、平和記念公園・広島平和記念資料館では平和の大切さと平和のありがたさを実感していただけたと思います。

残念ながら、次年度短期交換プログラムが新型コロナウイルスの影響により中止に追い込まれましたことは無念でなりません。

国際奉仕ファンド小委員会でも海外クラブとの協同奉仕活動を様々な分野で企画・実行するなど、多様な取り組みが行われました。

1 年間という短い期間でありましたが、各小委員会の委員長はじめ関係者のご協力に深く感謝申し上げます。

それぞれのプログラムがより良いものとなりますよう、皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。本当にありがとうございました。

米山記念奨学委員会
委員長 髙畠 勝己
（徳島プリンス RC）

2019-20 年度大島浩輔ガバナー年度がもうすぐ終了する時期となりましたが、皆様には米山記念奨学事業に対し多大なご支援ご協力を賜りありがとうございました。

ロータリー米山記念奨学事業は、日本のロータリーが協同で運営する奨学事業です。将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することであり、これは、ロータリーの目指す“平和と国際理解の推進”そのものです。

また、本事業の特長は「世話クラブ･カウンセラー制度」です。奨学生一人ひとりに地域のロータリークラブが「世話クラブ」となり、世話クラブ会員が「カウンセラー」となって、日常の相談役をつとめます。奨学生は世話クラブの例会や奉仕活動に参加し、実業人･専門職業人であるロータリアンとの交流を通じて、ロータリーが求める平和の心、奉仕の心を学びます。したがって、米山奨学生には奨学金を受け取るだけでなく、交流を大切にする姿勢をもとめています。「世話クラブ」の皆様、「カウンセラー」の皆様、奨学生へのご支援･ご協力ありがとうございました。

次に、本事業の規模ですが全国では毎年約 850 名の奨学生を受け入れており、内 2670 地区も本年度は 21 名の奨学生をお世話できました。これは、当地区ロータリアン皆様の普通寄付・特別寄付のたまものです。

本年度の新たな取り組みといたしましては、ガバナー事務所の協力のもと奨学生に対する「国内旅行傷害保険」を導入させていただき、奨学生の地区行事・他クラブ訪問等の参加時のトラブルに備えることができました。

年 2 回の委員会開催に当たりましては川之江 RC のご尽力により四国の中心地である「愛媛県紙産業技術センター」をお借りできましたことは、委員の移動時間縮小に寄与できました。

ただ、残念なことは「新型コロナウイルス」に伴い、例年 4 月に開催している新規奨学生に対するオリエンテーション等が開催出来ず米山記念奨学会からのメールに依存していることです。

次年度も米山記念奨学事業に対し本年度以上のご協力をお願いいたしまして、退任の挨拶といたします。

本当にありがとうございました。

地区委員長退任のご挨拶

広報・IT 委員会
委員長 赤澤 義仁
（徳島プリンス RC）

2019-2020 年度、地区広報・IT 委員会委員長を拝命し、1 年が経過しました。地区出向は初めての経験であり、とまどうことも多々ありましたが、カウンセラー佐々木善教様、各委員の方々のご助力いただきましたこと。また第 2670 地区会員の皆様にご協力いただきましたことに心より厚く御礼申し上げます。

広報活動はロータリーのストーリーを一般の人びとに伝え、クラブのプロジェクトや活動を広く知ってもらうためのもので、ロータリー活動の中で重要な役割です。各クラブで社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕活動等を実践されていますが、こういった活動をプレスリリース等を通じ、地域社会の皆さまに周知することが必要だと思います。こういった活動を行うことで、ロータリークラブの認知度が高まり、会員拡大につながることと思います。

また、ガバナー月信は地区内の皆様への大切な情報発信及び学びの資料としてとても役立つ資料としての役割を担っています。ぜひガバナー月信編集委員会への寄稿をお願いします。

継続して本年も MyRotary への登録 100%を目指していました。残念ながらそれは叶いませんでしたが、次年度も、各クラブで推進していただきたく存じます。

2019 年 3 月に開催された、地区研修の広報・IT 委員会で MyRotary の説明と登録方法を実際に研修させていただきましたが、まだまだ地区内の登録状況は少なく、登録促進が必要です。「MyRotary への登録方法」の説明や「MyRotary 登録のメリット」の周知不足が一因となっています。

地区、広報・IT 委員会が中心となり、より積極的にクラブ内の研修等を推進できなかったことは反省するところです。今後も引き続き MyRotary への登録を推進し続けていかなくてはならないと思いますので、ロータリーメンバーの皆様におかれましてはご協力をお願いいたします。必ずメンバーの皆様の学びに役立つツールですし、ロータリークラブの運営にも役立つツールです。よろしくお願いいたします。

Covid-19（新型コロナウイルス）感染拡大による影響は、PETS・DTTS、地区協議会、IM の開催中止、また各クラブでも例会の中止等ロータリークラブ活動に多大な影響を及ぼしました。地区を始め各クラブにおかれましても、IT を利用したシステムの構築等に取り組む必要があるのかもしれません。

この 1 年間ご支援ご協力を賜りましたメンバーの皆様に厚くお礼を申し上げますとともに、次年度以降もメンバーの皆様のご活躍をお祈り申し上げお礼のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

社会奉仕委員会
委員長 平岡 寿文
（徳島プリンス RC）

2019-2020 年度、地区社会奉仕委員長を拝命し、早くも 1 年が経過いたしました。本年度の社会奉仕委員長は、経験のない自分がいきなり委員長という大役を仰せつかり、地区委員様、各クラブの社会奉仕委員長様には大変ご迷惑をおかけしました。また多くのご協力もいただき、非常に感謝しております。

中でも、昨年の DTTS において前年度からの引継ぎをしていただきました曽根前年度委員長様。自らの苦労を次年度委員長には味合わせたくないとの思いで、非常に丁寧にアドバイス等含めてご教授いただき誠にありがとうございました。

また、次年度の地区社会奉仕委員長の役を、快くお受けいただきました星合次年度委員長様におかれましても、大変お世話になりました。引継ぎの機会でもある DTTS が、新型コロナウイルスの影響で中止となってしまいましたが、星合様におかれましては、昨年から一緒に議論を重ねてきた経緯もあり、この困難な状況におきましても、なんら問題なくご活躍される事と思っております。

昨年の地区研修・協議会では、各県の代表クラブに社会奉仕活動についての発表を行っていただきましたが、当年度の活動を次年度の社会奉仕委員長に発表していただく事になることから、できる限り、本年度の副委員長を次の年度の委員長になってもらうようお願いしました。しかし、3 月に予定されておりました地区研修・協議会も中止となり、せっかく引き継いでいただいたにもかかわらず、発表の場がなくなってしまい申し訳なく思っております。本年度、国際ロータリー会長の掲げるテーマは「ロータリーは世界をつなぐ」です。この世界の苦境においても、ロータリーの社会奉仕の精神が、世界の人々と共に未来へと繋がっていくことを切に願います。

最後になりましたが、この一年間多大なご協力をいただきました、すべてのロータリアンの方々に感謝を申し上げ退任の挨拶とさせていただきます。

地区委員長退任のご挨拶

ロータリー財団委員会委員長
パストガバナー・第3地域 ARPIC
前田 直俊
（坂出東 RC・坂出東四国ロータリーサテライトクラブ議長）

2019 -20 年度大島浩輔ガバナー年度がもうすぐ終了する時期となりましたが、皆さんのロータリー財団への日頃のご支持、ご支援に対して心から御礼申し上げます。6月末の最後の総仕上げを目指しましてロータリー財団委員会として1年間の反省と次年度の目標作りに頑張っております。地区補助金管理セミナーは下記の日程で2回開催されました。いずれもたくさんのクラブの会長・幹事および財団委員長の出席をいただきました。これらのセミナーは地区補助金申請につながったと思います。

2019 年 12 月 1 日㈰　開催場所 : 三翠園

2019 年 12 月 7 日㈯　開催場所 : ホテルパールガーデン

地区補助金につきましては 2020 年 4 月 22 日現在 52 件の申請があり、承認され順調に実行されて各クラブの実施報告書を待つのみとなっております。

内、雨天によるプロジェクト中止のため返金…1 件

コロナウイルス感染拡大防止のため返金…5 件

コロナウイルス感染拡大防止のため持越…4 件

なお、地区（補助金）奨学生は 2 名です。

古川　侑依 / アメリカ / ウェスタンカロライナ大学 / 鳴門ロータリークラブ推薦（新型コロナウイルスの影響で授業がすべてオンラインに移行され 3 月に日本に帰国）

加藤　志織 / イギリス / リーズ大学 / 松山ロータリークラブ推薦（体調不良のため留学を断念し 2 月に日本に帰国）

グローバル補助金は

- 坂出東ロータリークラブ / ベトナムジリン市における水と衛生プロジェクト /DDF 40,000 ドル
- 徳島東ロータリークラブ / 多数の病院外心停止患者を救急隊で救う /DDF 10,000 ドル
- 2670 地区提唱 / 非伝染病のための疾病予防・治療プログラムの推進 /DDF 10,000 ドル
- 2670 地区提唱／タイ国 COVID-19 に備えての健康に対する保護、準備及び対応能力の強化プロジェクト /DDF 15,000 ドル

皆様からのご寄付については 2020 年 4 月 22 日現在（6 月末で変動します）年次寄付小計 253,818.44 ドル　ポリオ・プラス小計 44,725.16 ドル　恒久基金小計 11,471.70 ドルで 1 人平均 84.55 ドルです。

2019 -20 年度寄付者情報（2020 年 4 月 22 日現在）

大口寄付（一括で 10,000 ドル以上）は 1 件（同時に平和センターへの 2 万 5000 ドルの冠名基金を作っている。）、メジャードナー 2 件、新規 PHS ポールハリスソサイエティ（-）、新規ベネファクター（-）です。

なお DDF よりポリオプラス 30,296 ドル、ロータリー平和センター基金 20,000 ドル、重点分野の水と衛生部門に 10,000 ドル寄贈しました。

2018 年ポリオのない世界を作ろうとポリオ終結宣言が出されましたが参考までに 2020 年 5 月 10 日までの野生株によるポリオ症例数はパキスタン 43 例、アフガニスタン 11 例の計 54 例となっておりポリオがこの世界から完全に無くなるまでにはまだまだ時間がかかりそうです。

終わりになりましたが本年度も地区ガバナー、ガバナー補佐、地区役員、ロータリー財団委員会並びに各クラブの会長、幹事および会員の皆様のご協力に心から感謝いたします。

追伸（最終報告は地区概況報告の地区財団部門に掲載予定です。）

地区委員長退任のご挨拶

青少年奉仕委員会
委員長 古川 充
（脇町 RC）

青少年奉仕委員会は、インターアクト委員会に丁井淳吏委員長（鳴門）、ローターアクト委員会に北野将庸委員長（徳島プリンス）、RYLA（ライラ）委員会に藤原賢治委員長（徳島プリンス）、新世代委員会に山内浩司委員長（美馬）にそれぞれお願いをし、どの委員長も複数年地区委員を経験された方々ばかりで、熱心な活動を行いました。ただ、1月以降の事業に付きましては、残念ながら、新型コロナウイルスの影響によりまして、中止もしくは、次年度へ延期されたプログラムが、数多くありました。

インターアクト小委員会に於きまして、当地区ではクラブ数、会員数とも僅かに増加傾向にあり、高校の先生方とロータリークラブとの関係が非常に上手く行っている状況であります。今年度の年次大会は、2019年7月27日㈯・28日㈰高松市サンポート高松にてホスト校が、高松中央高校IAC、提唱クラブは、高松北RCで、大会テーマ「Heart of alfruism 利他の心で / ～優しさの色の創造～」にて開催されました。講師には、NPO法人ヒカリカナタ基金理事長 竹内昌彦氏、社会福祉法人ラーフ理事長「挑壁者」毛利公一氏をお迎えしました。高松中央高校IACの皆さんは元より、顧問の先生方、高松北RCの方々のきめ細やかなサポートにより、終えることができましたことに、関係各位に対しまして、改めてお礼を申し上げる次第でございます。また、会長・幹事会が、主幹、明徳義塾中学高等学校、提唱クラブ仁淀RCにより、2020年6月6日㈯に愛媛県四国中央市において開催予定でしたが、新型コロナウイルスのため中止致しました。

ロータアクト（RAC）委員会は、RACが愛媛3クラブ、香川3クラブ、高知と徳島が1クラブずつのクラブが活動を致しております。RACの地区内行事は、年間に4回行われております。7月14日第1回会長幹事会が松山大学にて、開催されました。9月28日・29日に地区内交流会が、今期は全国IAC研究会と共に盛大に開催されました。このようにクラブ内だけではなく地区をも超えて日本全国・世界中でローターアクトの活動がなされております。その他の事業に付きましては、コロナウイルスの影響によりまして、中止並びに、延期を致しました。

RYLA（ライラ）委員会は、第1回2680-2670RYLA合同委員会を2019年10月13日㈰に神戸市西村屋和味旬彩にて、またRYLAセミナープレカウンセラーミーティングを2019年12月8日㈰に神戸市西村屋和味旬彩にて、開催致しました。そしてRYLAセミナー カウンセラーミーティングを2019年2月1日㈯・2日㈰を神戸YMCA余島野外活動センターにて開催致しました。また、RYLAセミナーの新しい候補地として同日時に小豆島ふるさと村［小豆島RC 例会場「国民宿舎小豆島」併設施設］を視察致しました。今年度の第12回全国RYLA研究会は、2020年2月9日㈰佐賀県 西九州大学 佐賀キャンパスにて開催されました。そして、第42回RYLAセミナーを（RID2680主幹）2020年3月19日㈭～22日㈰を神戸YMCA余島野外活動センターにて、テーマ 多様性～異なる文化に対する理解～の下に、開催予定でしたが、コロナウイルスのため、開催を中止致しました。

新世代委員会では、少年少女キャンプ（神戸YMCA余島野外活動センターにて開催）のサポートを致しておりますが、コロナウイルスの影響により中止となりました。また、児童への食育教育、貧困と児童虐待の2つについて、取り組んでおりますが、それ以外の青少年奉仕全般について、各クラブの方々と、連携をとりながら、情報交換を進めて参りました。そしてfacebookでの情報発信も行っております。

今年度も、青少年奉仕に、ご理解とご支援をいただきました事に厚く御礼を申し上げ、退任の挨拶と致します。

RID2670ロータリーデイ･End Polioチャリティー音楽祭

人生100年時代 日本ロータリー100周年に向けて

坂出東ロータリークラブ　坂出東四国
ロータリーサテライトクラブ議長
前田 直俊

2019年11月16日RID2670地区ロータリーデイ・End Polioチャリティー音楽祭を坂出グランドホテルにおいて開催しました。

音楽やトークショーを中心としたチャリティー活動とともにロータリアンや一般参加者約330人の方々に向けてロータリーの活動内容や財団の歴史について広報を行うと同時に、日本ロータリー100周年に向けての抱負を紹介しました。

大島ガバナーともよく相談し、坂出東ロータリークラブ・坂出東四国ロータリーサテライトクラブも参加しました。

当日はワールドベースボールクラシック、FIFAワールドカップ、世界フィギアスケートからカルティエ、ディオールなどのパーティーまで幅広く活躍中の女性3人グループMODEA（バイオリン地行美穂さん、ピアノ田中葵さん、パーカッション一丸聡子さん）や矢沢永吉40周年ライブ「Blue Sky」ホーン隊で出演したBeauty Noise TokyoのKeijiとWakaさんおよび外国人のゴスペルグループが颯爽と華やかに登場してくれました。

またサテライトクラブより岩本吉隆（財団奨学生ロンドン大学芸術科）を中心にした徳島からのロックバンドReverieも自慢のブルース・ロックを奏でてくれました。

今回のチャリティーで集まった資金は全額ロータリー財団に寄付させていただきました。ロータリーの公共イメージ向上のためにはチャリティー音楽祭もその一つですが、日本ロータリー100周年に向けて多くの一般市民にロータリー活動を理解してもらえるよう努力することと、弛まないアクションが必要だと感じています。これからも地区･クラブとしてロータリーの感動的な体験や親睦の会を積み重ね、その体験を多くの人たちと分かち合っていこうと考えています。

3月度出席報告

分区	クラブ名	出席率(%)	3月末会員数	首比増減	3月末女性会員数	例会数
香川第Ⅰ分区	さぬき	-	21	0	1	0
	東かがわ	85.58	27	0	3	4
	小豆島	91.18	36	0	1	1
	高松	-	85	-1	6	0
	高松中央	94.44	43	-1	0	1
	高松グリーン	91.67	40	0	2	1
	高松東	-	49	2	3	0
	高松北	-	86	-4	6	0
	高松西	-	56	-1	5	0
10RC	高松南	73.10	59	0	3	1
香川第Ⅱ分区	観音寺	-	44	-1	3	0
	観音寺東	-	30	1	4	0
	琴平	-	16	-1	1	0
	丸亀	-	60	0	4	0
	丸亀東	-	40	0	3	0
	坂出	-	35	-1	1	0
	坂出東	-	60	-2	3	0
8RC	善通寺	-	35	0	0	0

分区	クラブ名	出席率(%)	3月末会員数	首比増減	3月末女性会員数	例会数
高知第Ⅰ分区	安芸	74.42	21	-3	2	2
	中芸	78.12	16	-1	0	2
	香長	100.00	11	0	0	2
	高知中央	85.11	48	0	1	1
	高知東	-	53	0	7	0
	高知南	-	84	-1	12	0
7RC	高知ロイヤル	76.00	26	-1	4	1
高知第Ⅱ分区	高知	-	89	-1	15	0
	高知西	85.29	75	7	1	1
	高知北	75.00	42	-1	4	1
	中村	87.88	53	-1	4	2
	四万十	73.33	15	0	1	1
	仁淀	54.55	23	1	2	1
	宿毛	-	30	-4	1	0
8RC	須崎	47.62	19	-1	2	1

分区	クラブ名	出席率(%)	3月末会員数	首比増減	3月末女性会員数	例会数
愛媛第Ⅰ分区	今治	100.00	52	0	3	2
	今治北	81.25	24	0	1	2
	今治南	100.00	66	-1	0	1
	伊予三島	100.00	31	0	1	1
	川之江	92.15	51	-1	0	2
	新居浜	100.00	64	3	0	2
	新居浜南	-	19	-1	5	0
	西条	84.00	28	-1	0	1
9RC	東予	-	34	0	2	0
愛媛第Ⅱ分区	北条	80.77	13	0	0	2
	伊予	-	37	1	0	0
	道後	92.00	25	-1	1	1
	松山	68.67	64	2	2	3
	松山東	72.41	28	-4	1	1
	松山北	59.47	37	0	0	1
	松山南	87.27	56	0	6	1
	松山西	74.51	30	2	2	2
	大洲	-	38	0	3	0
	宇和島	-	23	1	1	0
11RC	八幡浜	91.30	24	1	0	1

分区	クラブ名	出席率(%)	3月末会員数	首比増減	3月末女性会員数	例会数
徳島第Ⅰ分区	徳島	-	83	3	1	0
	徳島東	-	62	0	2	0
	徳島北	-	31	0	2	0
	徳島プリンス	-	74	1	8	0
	阿南	67.32	55	-2	7	3
	阿南南	77.66	48	2	0	2
	小松島	72.00	24	-4	0	2
	小松島南	85.42	25	1	0	4
	阿南中央	54.55	22	2	4	3
10RC	徳島眉山	-	16	0	2	0
徳島第Ⅱ分区	阿波池田	89.13	47	0	0	1
	御所	73.61	25	2	4	3
	鴨島	92.31	50	-2	5	1
	鳴門	81.11	45	3	1	2
	鳴門中央	81.43	37	3	2	2
	徳島中央	100.00	31	1	4	1
	徳島南	-	39	2	5	0
	徳島西	100.00	38	-1	3	1
	脇町	68.29	41	0	1	1
	阿波徳島	48.61	24	0	0	3
11RC	美馬	71.40	28	0	4	1

	出席率(%)	3月末会員数	首比増減	3月末女性会員数	例会数
74RC 合計	80.87	3,016	-3	188	76

4月度出席報告

分区	クラブ名	出席率(%)	4月末会員数	首比増減	4月末女性会員数	例会数
香川第Ⅰ分区	さぬき	-	21	0	1	0
	東かがわ	85.19	27	0	3	1
	小豆島	93.94	36	0	1	1
	高松	-	85	-1	6	0
	高松中央	-	43	-1	0	0
	高松グリーン	-	40	0	2	0
	高松東	-	49	2	3	0
	高松北	-	86	-4	6	0
	高松西	-	56	-1	5	0
10RC	高松南	-	58	-1	3	0
香川第Ⅱ分区	観音寺	-	43	-2	3	0
	観音寺東	-	30	1	4	0
	琴平	-	16	-1	1	0
	丸亀	-	59	-1	4	0
	丸亀東	-	40	0	3	0
	坂出	-	35	-1	1	0
	坂出東	-	60	-2	3	0
8RC	善通寺	86.11	37	2	0	1

分区	クラブ名	出席率(%)	4月末会員数	首比増減	4月末女性会員数	例会数
高知第Ⅰ分区	安芸	95.00	21	-3	2	1
	中芸	62.50	16	-1	0	1
	香長	-	11	0	0	2
	高知中央	73.91	48	0	1	1
	高知東	-	53	0	7	0
	高知南	87.34	85	0	12	1
7RC	高知ロイヤル	-	26	-1	4	0
高知第Ⅱ分区	高知	-	86	-4	15	0
	高知西	-	75	7	1	0
	高知北	-	41	-2	4	0
	中村	75.56	53	-1	4	1
	四万十	-	14	-1	1	0
	仁淀	81.82	23	1	2	1
	宿毛	-	31	-3	1	0
8RC	須崎	-	20	0	2	0

分区	クラブ名	出席率(%)	4月末会員数	首比増減	4月末女性会員数	例会数
愛媛第Ⅰ分区	今治	100.00	52	0	3	1
	今治北	100.00	24	0	1	1
	今治南	-	66	-1	0	0
	伊予三島	-	31	0	1	0
	川之江	-	51	-1	0	0
	新居浜	100.00	64	3	0	2
	新居浜南	75.68	19	-1	5	2
	西条	76.92	28	-1	0	1
9RC	東予	97.06	34	0	2	1
愛媛第Ⅱ分区	北条	-	13	0	0	0
	伊予	-	37	1	0	0
	道後	-	25	-1	1	0
	松山	-	64	2	2	0
	松山東	-	28	-4	1	0
	松山北	-	37	0	0	0
	松山南	-	56	0	6	0
	松山西	-	30	2	2	0
	大洲	-	38	0	3	0
	宇和島	65.22	23	1	1	1
11RC	八幡浜	-	24	1	0	0

分区	クラブ名	出席率(%)	4月末会員数	首比増減	4月末女性会員数	例会数
徳島第Ⅰ分区	徳島	-	83	3	1	0
	徳島東	-	60	-2	2	0
	徳島北	-	30	-1	2	0
	徳島プリンス	-	74	1	8	0
	阿南	56.86	55	-2	7	2
	阿南南	-	48	2	0	0
	小松島	70.83	24	-4	0	2
	小松島南	88.00	26	2	0	4
	阿南中央	45.00	20	0	4	3
10RC	徳島眉山	-	16	0	2	0
徳島第Ⅱ分区	阿波池田	56.52	46	-1	0	1
	御所	73.61	25	2	4	3
	鴨島	-	50	-2	5	0
	鳴門	-	46	4	1	0
	鳴門中央	-	37	3	2	0
	徳島中央	100.00	31	1	4	1
	徳島南	-	39	2	5	0
	徳島西	-	38	-1	3	0
	脇町	60.00	40	-1	1	1
	阿波徳島	-	24	0	0	0
11RC	美馬	64.28	28	0	4	1

	出席率(%)	4月末会員数	首比増減	4月末女性会員数	例会数
74RC 合計	78.85	3,008	-11	188	38

受賞者紹介

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

寺田　覚
（高知西 RC）

垣内敬陽
（高知南 RC）

岡田道代
（高知南 RC）

嶋﨑勝昭
（高知南 RC）

内海順子
（高知南 RC）

原田秀一
（高知南 RC）

前田賀彦
（高知南 RC）

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

門田幹夫
（高知南 RC）

橋口孝好
（高知南 RC）

田中章夫
（高知南 RC）

戸田　明
（高知南 RC）

佐々木英樹
（さぬき RC）

安富　良
（さぬき RC）

廣川公利
（美馬 RC）

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

田中義美
（美馬 RC）

矢野泰弘
（観音寺東 RC）

島田光義
（観音寺 RC）

合田朝子
（観音寺 RC）

大久保健二
（観音寺 RC）

マルチプル米山功労者

寺田　覚
（高知西 RC）

矢野泰弘
（観音寺東 RC）

ポール・ハリス・フェロー

北川眞智子
（高知南 RC）

美馬敏彦
（美馬 RC）

田村光男
（美馬 RC）

森　英治郎
（観音寺 RC）

米山功労者

武田一憲
（高松 RC）

永野正将
（高知東 RC）

山村一正
（高知東 RC）

米山功労者

寺尾正生
（高知東 RC）

野町和也
（高知東 RC）

小比賀和弘
（高知東 RC）

武吉佳月
（高知東 RC）

西村美香
（高知東 RC）

国際ロータリー第 2670 地区
ガバナー事務所

国際ロータリー第 2670 地区ガバナー月信編集委員会
地区代表幹事：中川 透　担当幹事：赤澤 義仁
〒770-0021 徳島県徳島市佐古一番町11-4
TEL：088-655-2670 FAX：088-655-2672
E-mail：monthly@rid2670gov.net

写真提供 / 徳島プリンスロータリークラブ